

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)

【公表番号】特表 2002-509175 (P2002-509175A)

【公表日】平成 14 年 3 月 26 日 (2002.3.26)

【出願番号】特願 2000-540183 (P2000-540183)

【国際特許分類】

C 0 8 L 69/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/523 (2006.01)

C 0 8 L 55/02 (2006.01)

C 0 8 L 67/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 69/00

C 0 8 K 3/00

C 0 8 K 5/523

C 0 8 L 55/02

C 0 8 L 67/00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 A 芳香族ポリカーボネートまたはポリエステルカーボネート 5 ~ 95 重量部、

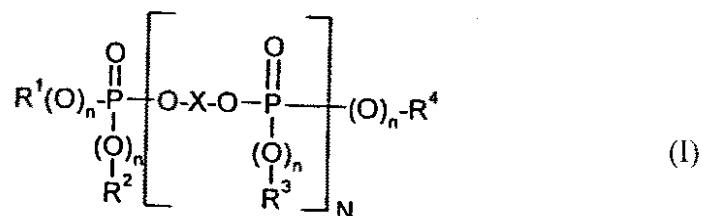
B B . 1 1 種または 2 種以上のビニルモノマー 5 ~ 95 重量 % と、

B . 2 10 未満のガラス転移温度を有する 1 種または 2 種以上のグラフト基材 95 ~ 5 重量 % との少なくとも 1 種のグラフトポリマー 0 . 5 ~ 60 重量部

C 熱可塑性ビニルコポリマー 0 ~ 45 重量部

D 一般式 (I) :

【化 1】



[式中、 R^1 、 R^2 、 R^3 および R^4 は、互いに独立して、 C_1 - C_8 - アルキル、 C_5 - C_6 - シクロアルキル、 C_6 - C_{20} - アリールまたは C_7 - C_{12} - アラルキル（これらは、場合により、ハロゲン化される）を示し、

n は、互いに独立して、0または1であり、

N は、平均 5 ~ 30 の数であり、

X は、6 ~ 30 個の炭素原子を有する単核または多核芳香族基を示す。]

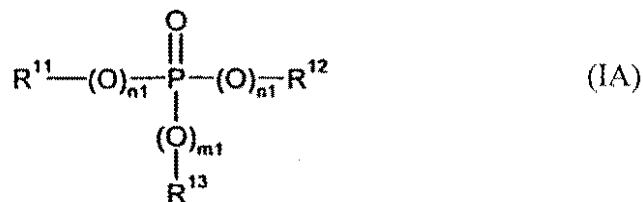
で示される少なくとも１種のリン化合物 0.5 ~ 20 重量部

E フッ素化ポリオレフィン 0 ~ 5 重量部、ならびに

F. 1 200 nm 以下の平均粒子直径を有する非常に微細な無機粉体 0.5 ~ 40 重量部、および / または

F. 2 式 (IA) :

【化 2】



[式中、 R^{11} 、 R^{12} および R^{13} は、互いに独立して、場合によりハロゲン化される C_1 - C_8 - アルキルまたは場合によりハロゲン化される C_6 - C_{20} - アリールを示し、

m_1 は、0 または 1 を示し、

n_1 は、0 または 1 を示す。]

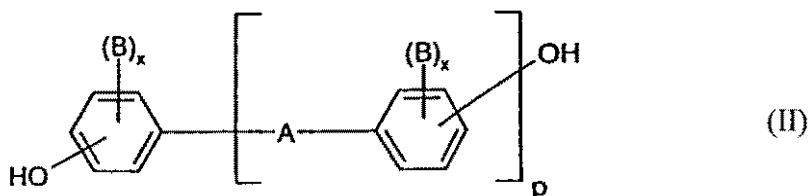
で示されるモノリン化合物 0.5 ~ 20 重量部

(すべての成分の重量部の合計が 100 である) を含有する難燃性熱可塑性成形組成物。

【請求項 2】 式 (I) において、 $\text{R}^1 \sim \text{R}^4$ は、互いに独立して、場合により臭素化または塩素化されるクレジル、フェニル、キシレニル、プロピルフェニルまたはブチルフェニル基を示し、 X は、場合により塩素化または臭素化されるビスフェノール A、レゾルシノールまたはヒドロキノンを示す請求項 1 に記載の成形組成物。

【請求項 3】 式 (I) 中の X が、式 (II) :

【化 3】



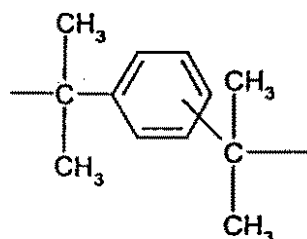
[式中、 A は、単結合、 C_1 - C_5 - アルキレン、 C_2 - C_5 - アルキリデン、 C_5 - C_6 - シクロアルキリデン、 $-\text{O}-$ 、 $-\text{SO}-$ 、 $-\text{CO}-$ 、 $-\text{S}-$ 、 $-\text{SO}_2-$ 、 C_6 - C_{12} - アリール基 (ヘテロ原子を場合により含有する付加的な芳香族環と縮合されうる) または式 (III) :

【化 4】



で示される基もしくは式 (IV) :

【化 5】



(IV)

で示される基を示し、

Bは、それぞれの場合 $C_1 - C_8$ - アルキル基、ハロゲン、 $C_6 - C_{10}$ - アリール基または $C_7 - C_{12}$ - アラルキル基を示し、

xは、それぞれの場合、互いに独立して0、1または2であり、

pは、1または0であり、

R^5 および R^6 は、個々に、それぞれの X^1 に対して互いに独立して、選択され、水素または $C_1 - C_6$ - アルキルを示し、

X^1 は、炭素を示し、

mは、少なくとも1つの原子 X^1 上の R^5 および R^6 が同時にアルキルである条件で、4～7の整数である。]

で示されるジフェノールから誘導される請求項1に記載の成形組成物。

【請求項4】 成分F . 1として、周期律表の第1～第5主族または第1～第8亜族の1種の金属と元素酸素、硫黄、ホウ素、炭素、リン、窒素、水素もしくは珪素またはそれらの混合物との化合物を含有する請求項1～3のいずれかに記載の成形組成物。

【請求項5】 成分F . 1が、 TiO_2 、 SiO_2 、 SnO_2 、 ZnO 、ペーマイト、 ZrO_2 、 Al_2O_3 、リン酸アルミニウム、酸化鉄ならびにそれらの混合物およびそれらのドーパ化合物から選択される少なくとも1種の化合物である請求項1に記載の成形組成物。

【請求項6】 成形品の製造のための請求項1～5のいずれかに記載の成形組成物の使用。

【請求項7】 請求項1～6のいずれかに記載の成形組成物から製造される成形品。